



在名古屋米国領事館共催

オンライン講演会

戦後日本の災害における日米協力と 次の大震災に備えるために

期日：令和3年 **3** 月 **24** 日（水）

時間：PM15:00~16:30

講師：ロバート・D・エルドリッチ（政治学博士）

エルドリッチ研究所・代表、グローバル・リスク・
ミティゲーション・財団（会長・北アジア担当）

使用言語：日本語

参加方法：Zoom

参加費：無料

お申込み：下記リンクもしくはQRコードよりお申
込みください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_YD8dVrmKRySKH_aBQbAGFDw



お申込みいただいた方に

参加用のURLを記載したメールを送付します。

お問い合わせ先：在名古屋米国領事館 広報部
E-mail：nacprogram@state.gov

今月で10周年を迎える東日本大震災の後、仙台で在日米軍前方司令部の政治顧問として、米軍による救援活動である「トモダチ作戦」の立案と実行に携わり、自衛隊と米軍の調整役をしていたロバート・エルドリッジ博士を講師に迎え、オンラインレクチャー&ディスカッションを開催します。伊勢湾台風などへの救援活動を研究しており、阪神淡路大震災を体験したエルドリッジ博士は、東日本大震災を含むそれぞれの課題や教訓を紹介し、次の大震災にどのように備えればよいかを一緒に考えていきます。



ロバート・D・エルドリッジ(政治学博士) Robert D. Eldridge, Ph.D.

エルドリッジ研究所・代表、日本戦略研究フォーラム・上席研究員、中曽根康弘平和研究所・特別研究員、グローバルリスクミティゲーション財団・理事(北東アジア担当)、兵庫県多可町政策アドバイザー・国際交流親善大使、全国少年院のボランティアなど。兵庫県川西市在住。

1968年アメリカ・ニュージャージー州生まれ。パリ留学後、1990年バージニア州リンチバーグ大学国際関係学部卒業。1999年、神戸大学大学院法学研究科博士課程修了(政治学博士)。サントリー文化財団フェロー、平和・安全保障研究所研究員、大阪大学大学院国際公共政策研究科准教授、在沖縄米軍海兵隊政務外交部次長などを経て現職。

著書に『沖縄問題の起源』(名古屋大学出版会、2003年、サトリー学芸賞思想歴史部門及びアジア太平洋賞特別賞)、『奄美返還と日米関係』(南方新社、2003年)、『硫黄島と小笠原をめぐる日米関係』(南方新社、2008年)、『尖閣問題の起源』(名古屋大学出版会、2015年、大平正芳記念財団大平正芳記念賞及び国家基本問題研究所日本研究賞奨励賞)、『オキナワ論』(新潮新書、2016年)、『次の大震災に備えるために』(近代消防、2016年)、『トモダチ作戦』(集英社、2017年)、『人口減少と自衛隊』(育鵬社、2019年)、『教育不況からの脱出』(晃洋書房、2020年)、『地方創生と日本の再生』(K&Kプレス、近刊)など多数

*Japan Times, Japan Forward, iRONNA, 現代ビジネス, 世界日報*などの定期的に寄稿、「そこまで言って委員会」、「正義のミカタ」のテレビ・ラジオ等でコメンテーターとして多方面で活躍。詳細、<http://www.robertdelldridge.com/>。

お問い合わせ先：在名古屋米国領事館 広報部
E-mail : nacprogram@state.gov